

セミナー「リアルオプションが挑む価値創造のフロンティア」へのご案内

主催： 日本リアルオプション学会

協賛： 中央大学、早稲田大学ファイナンス研究センター、日本感性工学会、
早稲田大学ファイナンス稲門会

日時： 2016年11月19日(土)

場所： 中央大学 後楽園キャンパス 6号館 3階 東京都文京区春日 1-13-27

交通アクセス: <http://www.chuo-u.ac.jp/access/kourakuen/> (参加費: 無料)

講演 1： 11:10 -12:30 司会：今井 潤一 慶應義塾大学、日本リアルオプション学会副会長

リアルオプション研究の新しい方向をめざして

講師：森平 爽一郎 氏 早稲田大学ファイナンス研究科 教授

【要旨】 リアルオプション研究は、プロジェクト評価にあたり「正味現在価値法」では十分でない柔軟性をオプション理論に取り入れたことにより新しい視点を切り開いたことで注目をあびた。しかしその一層の発展のためには、研究対象を世の中で生じている様々な「実際 (Real)」の事柄に注目していく必要がある。この報告では、コインや大災害評価、国家破綻、スポーツ選手の報酬、文楽、税制、法制度、政治イベントなどにリアルオプションが適用できることを示すとともに、そのための新しいオプション価格決定モデルの方法について議論をする。

- - - - - 休憩 (昼食) - - - - -

講演 2： 13:30 -14:50 司会：服部 徹 (一財)電力中央研究所、日本リアルオプション学会会長

破壊的イノベーションと電気事業のビジネスモデル変革

講師：伊藤 剛 氏 アクセンチュア(株) 戦略コンサルティング本部 マネジング・ダイレクター

【要旨】 自由化によって変革を迫られている電力業界。電力小売の自由化や発送電分離といった変革は、業界変革の序章に過ぎない。低炭素化や人口減少といったメガトレンド、分散エネルギー資源やデジタルテクノロジーといったゲームチェンジャーが電気事業のビジネスモデル変革を加速する。発電や流通、小売といった各事業領域における新たなビジネスモデルの萌芽事例を紹介しながら、電力業界がマネジメントすべき新たなリスクを考察する。

講演 3: 15:00 -16:20 司会：長谷川 専 (株)三菱総合研究所、日本リアルオプション学会副会長

二つのコードと企業価値向上

～長期の企業価値向上に必要な施策：機関投資家の視点から～

講師：堀江 貞之 氏 (株)野村総合研究所 金融 IT イノベーション研究部 上席研究員

【要旨】 2つのコードが導入され、独立社外取締役の採用など外形基準を整備する動きが進んでいる。一方、改革の本丸である企業の長期収益性改善は緒に就いたばかりでまだ明確な実績が出ていない。本講演は、機関投資家の立場から、企業経営者が果たすべき長期の企業価値向上という役割をどのようなプロセスで達成してほしいと考えているかを GPIF 等の事例を基に解説する。

パネル討論： 16:30 -17:50 司会：高森 寛 早稲田大学

リアルオプション学会の原点とこれからのフロンティア

パネラー： 長谷川 専 氏 (株)三菱総合研究所)、今井 潤一 氏 (慶應義塾大学)、
北原 康富 氏 (名古屋商科大学大学院)、小林 孝明 氏 (株)野村総合研究所)

【概要】 学会創設当初の心を振り返りながら、これからの日本の経営、経済、産業には、どんなフロンティアが待ち受けているのか、そして、「本学会はどのように貢献できるのか、チャレンジはなにか」を討論します。

参加申込先 (日本リアルオプション学会の2016研究発表大会の一部です。大会参加者は申込の必要ありません)

このセミナーのみのご参加は、ホームページ [http:// realopn.jp/](http://realopn.jp/) から、参加申込をお願いします。
懇親会のみのご参加も歓迎します。